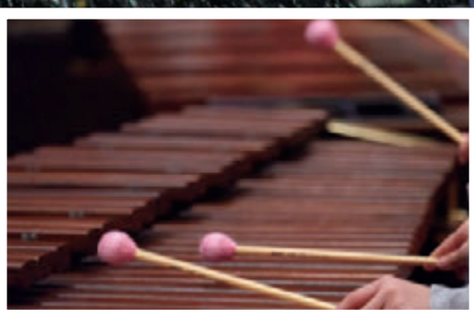
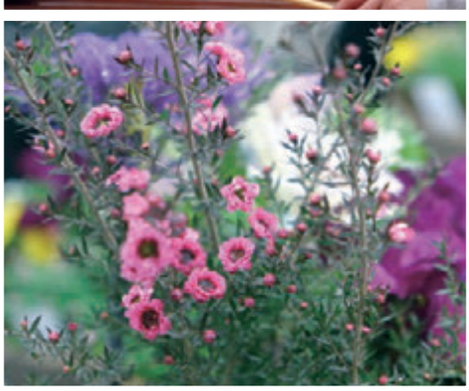


広　報

わかさ

2014.02　No.106



Congratulations!

２０１４．０１．１２　成人式

成人式。
きっとこれから先も「大人」になるきっかけはたくさんある。
これまでだってあった。
でも今日は、育ててくれた町や家族がお祝いしてくれる特別な日。
いつも感謝を忘れない、大人になります。

1月12日、冬晴れの下、パレア若狭で成人式が行われ、新成人204人が大人としての第一歩を踏み出しました。

華やかな振り袖や真新しいスーツ姿でこの日を迎えた新成人たちは、同級生らとの再会を喜び、思い出話に花を咲かせていました。

会場では連絡先を交換し合ったり、スマートフォンを使って、友人同士で一生に一度の晴れ着姿を撮影し合う様子も見られました。

新成人らは姿勢を正して式に臨み、厳粛な中にも温かみのある式典となりました。

CHECK IT OUT DRESS UP STYLE!

無事成人式が終えられ、ホッとしています。悔いのないように生きたいです。好きなことは全部やりきりたいと思います。
池田奈央（向笠・写真１左）

実感はないけれど、回りの人に感謝の気持ちを持って過ごしたいです。看護師を目指しています。
岩崎恵（上瀬・写真１中央）

ピンと来ないけれど、工学を大学で学んでいるので改めて頑張ろうと思います。
百田幸真（館川・写真１右）

これからは責任を持って、もっと人生を楽しんでいきたいと思います。
苅田佳佑（グリーンハイツ・写真２）

撮影協力：Yukiko Shikata

Back Stage

実行委員長の青木直人さん

成人式実行委員は11月から準備を始め、祝賀会の場所取りや出欠確認、文集の作成などを行ってきました。

前日のリハーサルで、実行委員長の青木さんにお話をうかがいました。「三方地域と上中地域が一緒に準備をしたことでお互い仲良くなり、繋がりが増えてよかったです。三方地域は地元に残っているメンバーが少なく、人数の面で苦労しました。これからは成人としての自覚を持ち、何事も自分でけじめをつけるようにしたいです。親に苦労をかけてきたので、少しずつでも親孝行をしていけたらと思っています」と、頼もしい笑顔で話してくれました。

準備をすすめる実行委員のみなさん（パレア若狭）

ぼた餅プレゼント

12月18日、三方小学校3年生が地域の一人暮らしのお年寄りのお宅を訪問し、できたてのぼた餅と手紙をプレゼントしました。

訪問前には、児童たちが育てた「ゆりかご米」を使ってぼた餅を作りました。慣れない手つきで餅を丸めたり餡(あん)でくるんだりして立派なぼた餅ができました。

この日、民生児童委員の河原直治さんと共に鈴木和香子ちゃんと松村栞帆ちゃんが畠中光子さん宅を訪れました。畠中さんは笑顔で出迎え、2人がぼた餅を手渡すと「寒いのに気の毒になぁ、おおきんなぁ」と、2人の頭をなでました。2人は「ちょっと緊張したけど、とっても喜んでもらえたのでうれしい！」と、笑顔で話してくれました。

夢を持とう！

12月3日、野木小学校で越前市出身の自転車選手・中島康晴さんの「夢や目標を持つことは楽しいことだよ！」と題した講演会が開かれました。

講演会では、世界中のレースに出場した様子などを世界の美しい風景とともに写真を使って紹介したり、児童たちが実際に自転車と触れ合うコーナーもありました。

中島さんは、「大きな事故を経験し、自転車を諦めそうになった事もあった。その苦しい時期に自分を支え、励まし、再び夢に向かわせてくれたのは、近くにいる家族や友達だった。みんなも、すぐ隣りにいる家族、お友達を大切にしましょう。まずはきちんと挨拶をするようにしようね」と話しました。

選挙を体験

12月17日、瓜生小学校で「明るい選挙出前塾」が行われました。この取り組みは、将来の有権者となる子どもたちに選挙の重要性を知ってもらおうと、「福井県明るい選挙推進協議会」が開催したものです。6年生22人が、選挙について分かりやすく説明したＤＶＤを見た後、「瓜生町長選」として織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を候補者に見立てて実際に投票を行いました。

今回の投票では、受付をして投票用紙を受け取って、投票したい候補者の名前を書き、投票箱に入れるという流れを体験しました。児童たちは少し戸惑いながらも、静かに投票を行いました。

松宮光見さんは、「選挙はもっと難しいものと思っていたけど、実際に投票をしてみたら簡単だった。選挙の方法が分かってよかったです」と話しました。

心で用心、目で用心

12月28日の夜、熊川区民と上中消防団による夜回りと、年末警戒出発式が行われました。

この日は朝から雪が降り続き、熊川集落も雪に包まれていました。雪かきが終わった道にも休みなく降り積もっています。

夜8時、熊川集落に消防車が続々と集まって来ました。降りしきる大粒の雪と、雪化粧した格子窓の街並みが赤いランプに照らし出されます。

夜回りは「火の用心、心で用心、目で用心」と呼びかけながら、集落の中を歩きました。子どもたちも積もった雪に足をとられそうになりながら、大人と一緒に一生懸命歩きました。

その後、児童館前の広場で出発式が行われました。

環境保全に役立てて

12月5日、敦賀信用金庫から若狭町に、環境保全に役立ててほしいと寄付金が贈呈されました。この寄付金は、昨年6月から9月に募集された環境保全を応援する定期預金「未来への宝」に預け入れられた総額の、0.01%に相当する額を管内の市町に分けて寄付するものです。今回は総額が31億円に達しました。

寄付にあたって、敦賀市には中池見湿地に、美浜町と若狭町には三方五湖の環境保全に役立ててほしいとの意向で、森下町長は「使い道をよく吟味して、役立たせて頂く」と話していました。

写真が動くよ！
1月号5ページの使い方を見てね。
今月のQRコードはこれ！
（3月号発行まで見ることができます）

サンタがやってきた

12月24日、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌うののはな保育園の園児たちの前に、大きな袋をかついだサンタさんがやってきました。

サンタさんが現れると、部屋がはちきれんばかりの大きな歌声に。サンタさんからのプレゼントを受け取って、大きな声でお礼を言いました。

このサンタさんは、防犯組合若狭地区連合会上中支部が、上中地域の保育園を年に一か所ずつ回っているもので、今年のサンタは、窪田伸広会長と佐野和彦副会長が扮しました。

サンタの登場前には野木駐在所の杉本巡査長が、犯罪から身を守る約束事「いかのおすし」を園児に覚えておくよう話し、園児たちは元気よく返事をしていました。

年末警戒出動式

12月6日の夜。三方B＆G海洋センターで、若狭町年末特別警戒出動式が行われました。出動式には若狭町防犯隊の隊員と、若狭町安全安心まちづくり推進会議の会員が出席し、関係者から訓示を受けました。

式では、優良隊員の表彰も行われ、表彰を受けた隊員は一人ひとり神妙な面持ちで受け取っていました。

その後、隊員らは、敦賀警察署の署員から護身術講習を受け、有事の際の体の動かし方を学びました。

安全安心まちづくり推進会議は、同日午後3時から防犯パトロールを行い、防犯隊は、上中連隊は小浜署一斉警戒に合わせ13日に、三方連隊は消防団合同で28、29日に警戒を行いました。

ドリームカップ

12月7日と8日、海山にある屋内ゲートボール場で「第19回ドリームカップ」が開催され、県内外から14チームが参加しました。遠くは新潟や埼玉、三重などから参加し、町内からは3チームが参加しました。

選手は、小学生から年配の方までと幅広い年齢層。ボールがゲートを通過したり対戦チームのボールに命中するたびに歓声が上がりました。試合の終了時間が迫ると応援の声も大きくなり、最終試合は盛り上がりもピークになりました。各地域の方言も飛び交い、大会のスケールの大きさを感じました。

家族でチームを組んで参加された小川の古崎邦夫さんは、今年は接戦になったと笑顔で汗をぬぐっていました。

かや田の恵み

12月21日、中央公民館で、しめ縄づくりと赤米入りの餅つき大会が行われ、町内外から45人が参加しました。これは福井県里山里海（さとやまさとうみ）湖研究所とハスプロジェクト推進協議会が共同開催したものです。

かや田（かや（ヨシ）が広がる田んぼ）で作られた稲わらと赤米を使い、モチ米はハスプロジェクトのメンバーが無農薬で栽培したものを使いました。

参加者はお互いに教え合ったり、悪戦苦闘しながら和気あいあいとしめ縄をつくりました。

また、餅つきは、大人と子どもが交代しながら仲良く杵で餅をつき、会場には「よいしょ！」の掛け声が響きました。

つきたての赤米入りのお餅は、おろし餅やきなこ餅、ぜんざいにして食べました。

マリンバ教室

パレア若狭では様々な催しが行われていますが、世界に誇る県内産楽器を使った催しをやってみようと、フクイマリンバクラブに依頼し、12月8日のコンサートと、全6回のマリンバ教室が開催されました。

教室は小学1年生から中学2年生の嶺南市町の14人が参加し、9月から月に2回の練習を行なってきました。受講生は、教室での練習だけでなく、自宅でもピアノや木琴などを使って練習を重ね、講師の篠田幸子さんは「本番前には一気にうまくなってきた」と話していました。

コンサートでは、フクイマリンバクラブの演奏の間に受講生の演奏も行われ、訪れた家族や観客は目を細めて鑑賞していました。

演奏後、緊張の解けた受講生たちは「いっぱい間違えた」と笑いながらも満足した様子でした。

中学校を体験！

12月12日、上中中学校で、新入生体験入学が行われました。今年4月に入学予定の上中地域の小学6年生が参加し、上中中学校の1年生が中心となって学校案内などを行いました。

児童たちは、実際の授業や各教室を見学した後、校歌の演奏で歓迎を受けました。写真を使っての行事紹介や1年生との交流タイムも設けられ、中学生の優しいリードで児童たちの緊張もほぐれ、楽しそうな笑顔がみられました。

6年生の児童たちは、小学校と比べながら興味深く見学し、授業は難しそうという声が多く聞かれましたが、新しい世界をのぞき、多くの発見があったようでした。

リアル社会科

12月12日、三方中学校の3年生を対象に、行政相談出前教室が開かれました。この教室は、行政や行政相談とはどういうものかを学ぶもので、総務省行政評価事務所が嶺南では初めて開催しました。

プロジェクターに映し出された図を見ながら、三権分立や、自治体行政の役割などの説明を受け、その後、町内の相談委員を務める江戸道夫さんと田中正之さんから、実際の相談内容やそれに対して行った業務の結果を聞きました。また、事前アンケートで、生徒が行政に対して疑問に感じたことに、町の対応を回答するなど、中学生にも相談できることを経験しました。

生徒たちは、社会科で公民を学んでいますが、学校で学んだことが実際の社会でどのような仕組みになっているかを知る良い機会になったようでした。

みんなでクリスマス

毎週火曜日の放課後、西田公民館では「放課後子ども教室」として、梅の里小学校の1・2年生18人が集まり、地域の人たちが準備したかるたや昔遊びなどをして楽しい時間を過ごしています。

12月13日はクリスマス会が行われ、四方由紀子さんの奏でるサックスに合わせて、児童たちは大きな声で歌を歌って楽しみました。

会場にはサンタさんも登場し、一人ひとりに文具などが入ったプレゼントが手渡され、児童たちは大喜び。壁には、これまでに地域の人たちと作ったクリスマスツリーの壁飾りが飾られ、クリスマス気分を盛り上げていました。

卓球選手権

12月23日、「第18回若狭卓球選手権大会」が、三方体育館・三方中学校体育館で行われました。この大会は、合併前の上中町と名田庄村の卓球協会が開催していましたが、現在は若狭町卓球協会に引き継がれ、おおい町卓球協会も協力して毎年開催されています。

嶺南各市町の小中学生と高校生を含む一般の選手が約400人参加し、熱戦を繰り広げました。午後はラージボールの試合も行われました。

初心者からトップレベルまでが同じ会場に集い、年によっては県外からの参加もある大会は珍しく、毎年12月23日に行うことが決まっているそうです。

〈町内出場者の結果〉
中学男子シングルス3位：小川拡（上中中）
中学女子シングルス3位：今井みさ（三方中）

若狭の名工

杉山出身の数寄屋（すきや）大工・内藤源七氏にまつわる展示「若狭の名工内藤源七展」が、若狭町歴史文化館で2月2日まで開催しています。

展示室には、源七氏が実際に愛用していた大工道具や、設計図、建築模型なども展示されており、直筆の図面やメモの美しさから、とても丁寧な仕事ぶりや人柄がうかがえます。

源七氏は若かりし頃、京都へ修行に出て技を磨きました。そして妙喜庵（国宝）の修築、高台寺時雨亭・傘亭（重要文化財）の改築など、多くの建物の工事に携わりました。

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：月曜日（月曜祝日の場合は翌日）
入館無料

考えよう人権

人権擁護委員の啓発活動

12月4日から10日は人権週間でした。町内の小中学校では人権集会が開かれ、また、12月4日には人権擁護委員による啓発活動もショッピングセンターレピアとPLANT-2で行われました。

小学校では、友だちとの関係を考えた標語を発表したり、講演会やコンサートなどで、障がいのあるなしに関わらず共に生きる事、一人ひとりの違いを認めて互いを尊重することなどを学びました。

上中中学校の人権講座では、敦賀市の福祉団体「ウェット」の聴覚・視覚・肢体の障がい者自身が、コンビニで買い物をする寸劇を行い、日常生活でどんなところに困っているかを一つ一つ紹介しました。

店員が障がい者本人でなく、介助者にしか話しかけない様子などを具体的に紹介し、劇の後には、介助者が障がい者を介助する際に実際に言葉がけする様子も見ることができました。生徒たちは「接し方がよく分かった」「手話も教えてもらえて嬉しかった」と話していました。

明倫小学校の標語発表

福祉団体「ウェット」の講座

アラカルト

	1	2
3	4	5
6		

1. 三方地域公民館長杯ソフトバレーボール大会
   勤労体育館（12/15）
2. 薬物乱用防止教室　三方小学校　（12/5）
3. オオハクチョウ　田名
4. お正月寄せ植え教室　三宅公民館（12/24）
5. 福井県子どもジュニアリーダー研修会
   三方青年の家（12/21, 22）
6. しめ縄講習会　B＆G海洋センター（12/7）

田んぼや畑を数珠つなぎ ー田んぼや畑、自慢しますー

三木　すが さん （天徳寺・88 歳）

「冬を越して大きく甘くなったキャベツを春に収穫するのが楽しみです。茹でるとほんまにきれいな色になるんです。今日は谷田部ネギも収穫しました」

なしたええんや ーわたしのオススメ、教えますー

河村　陽一さん （世久見・27 歳）

「新車を買いました！よくドライブに出かけています。今の季節はスノーボード、夏になればキャンプと、これからも愛車と一緒にアウトドアを満喫する予定です」

こちらのページでは若狭町にお住まいのみなさんをご紹介しています。掲載を希望の方は、お気軽にご連絡ください！
NPO わかさ Reco.　Tel ： 050-3701-8341　Fax ： 050-3730-7496　Facebook ページ：「わかさのススメ」

文　芸　ひ　ろ　ば

〈源流・つくし句会〉

ひんがしの母校の峯や初茜　古川浄雪（市場）

新しき生命根元に冬に入る　西川照代（三生野）

〈やよい俳句会〉

春立つや息吹き掛けて靴磨く　宇田春木（大鳥羽）

豆撒きや父といへども鬼は鬼　小林大山（大鳥羽）

〈かをり歌会〉

狭庭辺の楓の紅葉鮮やかに
一葉を取りて本に挿(はさ)みぬ　石田春子（井崎）

目覚めよき朝(あした)はうれし手や足を
伸ばしつつ清(すが)し朝光(あさかげ)を受く　大崎常子（気山）

〈上中短歌会〉

久々に家に戻りし長男の
笑顔は亡夫の下がり目となる　小林福（日笠）

弁天様の赤き幟は池底に
広ごる梅花藻のはざまにゆるる　玉井富枝（三宅）

〈川柳湖畔〉

遠い日の記憶の奥に下駄の音　大野文子（井崎）

ちちんぷいママの魔性の軽いうそ　清水博江（鳥浜）

〈ほっと川柳〉

今日も又やる気を一歩進めます　重長幸代（三生野）

杖だけが先に進んで散歩道　堀口光江（兼田）

〈若狭町冠句の会〉

きっとくる棋譜が読んでる十手先　吉村木螺（三生野）

芽が育つでんと構えた四代目　江南連花（田名）